

HP: <http://rakuno.org/>



風声雪語 —野幌だより—

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

九州地区同窓会総会報告

- トピック
 HPの更新状況から
 ○高等学校関連
 ○短期大学関連
 6.04 IIコース5期同期会
 6.27 酪農5期同期会
 ○大学関連
 2016年
 8.06 緑風会中央研修会
 9.03 緑風会宮城総会
 10.30 酪小獣九州研修会

- 地区支部同窓会関連
 2016年
 9.11 兵庫県支部総会
 10.15 岐阜県支部総会
 10.16 富山県支部総会

猛暑の8月6日(土)、宮崎市内「ホテル メリージュ 鳳凰」を会場に「九州地区酪農学園同窓会」の総会・懇親会が午後6時から50名を超える会員、ご家族が九州各県から出席し、冒頭に記念撮影が行なわれたのちに全体総会となった。学園から谷山弘行理事長、近雅宣常務理事、酪農学園同窓会からは小山久一会長、浦川事務局長が出席された。

会は宮崎県支部大村賢太郎氏の司会で進行。司会者からの開会宣言ののち、榊木野昂九州地区同窓会会長より歓迎の挨拶と熊本地震等を含め九州同窓会の現況等が述べられ、古賀友英氏の九州地区会長の退任、及び宮崎県支部長藤本幸雄氏の退任に係り、新九州地区会長に福岡県



支部長の榊木野、長崎県支部長に松崎秀保氏、宮崎県支部長に小嶋聖氏が就任し、九州地区副会長(本部同窓会代議員)に宮崎県支部長小嶋聖氏を選任したことを報告された。開催県会長挨拶を小嶋聖宮崎県支部同窓会会長が口蹄疫時のお礼や準備委員会の経過報告を述べた。来賓のご挨拶ののち、記念講演が行われ、「酪農学園の近況と、とわの森三愛高校、酪農学園大学の現状」と題して谷山理事長からスライドを用いての学園の現況をわかりやすく紹介された。

酪農学園同窓会の現況 (卒業生数)

目次:

- 最近の話題 1
 同窓会現況 1
 地区支部同窓会 2
 職或OB会 3
 報告等 4
 編集後記 4

2015年度 累計卒業生数

大学院 計	1,559名
大学 計	28,685名
短大 計	9,487名
高校 計	19,509名
合計 計	59,240名
酪農義塾 計	303名
酪農学校 計	
	92,000名
総合計	151,543名

地区支部の設置状況 () は未設置

北海道1区:石狩	3支部(1)(江別)
北海道2区:道央	6支部(2)(空知1)(胆振2)
北海道3区:道南	5支部(2)(後志1)(後志2)
北海道4区:道北	6支部(1)(留萌1)
北海道5区:道東	6支部(0) 26支部(6)
東北地区 :	6支部(0)
関東甲信越地区:	10支部(0)
中部地区:	7支部(0)
近畿地区:	6支部(0)
中国地区:	5支部(1)(島根)
四国地区:	4支部(0)

地区支部同窓会 紹介コーナー

関東甲信越地区東京都支部総会報告



7月23日(土) 13時より酪農学園東京オフィスにて、東京都支部定期総会ならびに講演会、懇親会が開催されました。今年は、当支部設立10周年の記念すべき節目の総会です。冒頭、当支部顧問であり初代の関東同窓会会長古田修吾大先輩が昨年10月にご逝去されましたのでご冥福をお祈りし全員で黙祷を捧げました。

1) 定期総会 総会の司会進行は安藤武男副支部長(事務局長職務代行)が行い、開会宣言の後、須田利明支部長よりご来賓の方々へ歓迎のご挨拶等々がありました。その後、司会者よりご来賓の紹介があり、次に支部会則により須田支部長が議長となり、議案の審議に入りました。

第1号議案 27年度事業報告・決算報告・監査報告、第2号議案 28年度事業計画(案)、予算(案)等が審議され、全て原案通り承認されました。

ご来賓のご挨拶は酪農学園同窓会会長 小山久一様・学校法人酪農学園常務理事 近雅宣様・公益財団法人酪農学園後援会常務理事 永田享様・東京オフィス所長 高澤靖様・関東甲信越地区同窓会長 岡田勉様・埼玉県支部長 後藤久雄様(廣間支部長代理)・神奈川県支部長 作田昌彦様・千葉県支部長 唐仁原景昭様・茨城県支部長 根本久美子様よりそれぞれご挨拶や近況報告を賜りました。

① 先輩の話をお聞き 東京都支部顧問(初代支部長) 野田修平様 出生地北海道二セコ町から酪農学園での思い出、樋浦学長との出会い人生の大転換、短大卒業後、雪印乳業(株)に入社し、日本列島縦断の旅(北海道⇒東北⇒関東⇒東海⇒関西⇒九州⇒関東)。同窓会での思い出⇒連合同窓会との関わり 石川県・茨城県支部の創設、関東同窓会4代会長、連合同窓会副会長、東京・山梨・新潟県支部創設支援等々

その後、1997年より「絵を描く思い」で野田画伯の誕生で現在まで数々の受賞を受けておられます。今年3月には宮城県東松島市立鳴瀬桜華小学校へ震災復興応援画を寄贈されました。

② 酪農学園建学の精神(建学原論) 酪農学園同窓会長 小山久一様 黒澤西蔵翁生誕130年がたち、故郷茨城県常陸太田市での両親や祖父母等の暮らしの状況、そして母親が西蔵に大きな期待をよせておられ、それに答えるべく努力されておられた。等々スライドにて黒澤西蔵翁の出生と家系等序盤のお話があり、時間も少なくまだまだ続くものと思われる。講演の後には田中可子副支部長の指揮で「賛美歌312番」を全員で歌い、その後記念写真の撮影となりました。

4) 懇親会 今年は支部設立10周年ということで、会場を東京会館銀座スカイラウンジ展望回転レストランで開催しました。

関東甲信越地区新潟県支部総会報告



去る7月30日(土)午後3時から新潟東映ホテルを会場に定期総会が開催されました。出席者は支部会員が13名、本学から竹花一成学長、小山久一同窓会会長。関東から唐仁原景昭副会長、高澤靖東京オフィス所長にご出席いただきました。総会は石月支部長の開会挨拶に続き、支部規約第8条3項により石月 晋氏が議長となり、五十嵐利男氏を書記に任命した後、議事を開始しました。

第1号議案 平成27年度事業報告及び会計報告並びに監査報告。別添活動報告ならびに会計決算報告書の説明が事務局よりあり、その後小池清司監事による会計監査報告が実施されました。

第2号議案 平成28年度事業計画(案)並びに会計予算(案)について事務局より提出があり報告および説明があった。以上、第1号議案および第2号議案について一括審議の結果承認可決した。

第3号議案 その他の件について、事務局より次年度に役員改選を控え、できれば現体制で臨みたいが、石月支部長におかれては年齢も考慮して退任を希望されている旨説明がされ、会員の皆さんに対して支部長候補者の推薦依頼があった。これをもって石月議長が15時45分に閉会を申し総会を終了しました。

議事終了後に竹花一成学長、小山久一同窓会会長、唐仁原景昭関東甲信越地区副会長、高澤靖所長来賓各位のご祝辞を賜った後閉会となりました。総会終了後、小山久一氏(特任教授)による酪農学園創立者について講話が催され、本学に興味を持つ女子生徒1名が参加聴講しました。

17時30分講話終了後、全員の記念撮影を実施、その後交流会が屋上ビアガーデンを会場にして開催され、愛息、愛娘といっしょに参加の同窓生もあり、和やかな懇談が行なわれました。最後になりますが今回ご支援いただいた、来賓各位、同窓生の皆様はこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



職域OB会紹介コーナー

緑風会近畿地区総会報告



去る7月3日(日)元町にあるパレス神戸を会場にして第3回となる近畿地区緑風会が開催された。出席者は16名で大学からは竹花一成学長、阿部茂教授、同窓会から山本浩光近畿支部長が出席された。

総会に先立ち、大学説明の一環としての講演が本学食と健康学類阿部茂教授より講演が行われた。講演テーマは「大学の学習概要及び特色あるカリキュラム～食と健康学類を中心に～」特に食と健康学類を中心に大学の学習概要及び特色あるカリキュラムについて詳細な説明が行われた。

具体的にホタテ節の実用化、加熱蒸気技術の食品加工への導入、ニードルレスインジェクターの用途拡大など、今、大学で研究されている新技術を分かり易く紹介していただいた。続いて行われた総会では報告事項として、平成27年度事業・会計報告、監査報告。審議事項として平成28・29年度事業計画が協議され、拍手で承認された。なお、29年度総会は7月2日(日)に決定された。

記念撮影ののち、懇親会が開催された。竹花学長の緑風会をバックアップするとの温かい祝辞に次ぐ山本同窓会近畿支部長の乾杯の発声で懇親会が開始され、終始和やかな雰囲気で大変盛り上がった。全員がスピーチ!!出席者の大学時代の思い出話、大学や緑風会への思い、近況等がユーモラスに話された。

最後は肩を組んで酪農讃歌を熱唱、澤竹副会長の閉会の挨拶でお開きとなった



酪小獣麦の会総会研修会報告



去る31日午後3時から附属動物医療センター3階vetOSCE室を会場にして、第5回となる標記の総会研修会が会員や関係者20余名の参加により行なわれた。進行は松尾直樹事務局長。まず麦の会南繁会長の歓迎のご挨拶のあと、来賓挨拶として酪小獣中国の鳥越秀二代表、酪小獣四国の入江充洋代表からご挨拶を頂戴した。次に動物医療センター長の山下和人教授からセンターの紹介と伴侶動物関連の施設見学が行なわれた。今回の動物医療センターの増改築は主に学生の臨床実習環境拡大が主な目的であったことが紹介された。

研修会では「動物医療センターにおけるリハビリテーションの実際」と題して獣医保健看護学類の樫下早絵准教授にスライドを用いて丁寧にご説明していただいた。また具体的に、処置室での機器の紹介等も行われた。終了後の質問も多く、伴侶動物におけるリハビリテーションの重要性が増えることが予想されます。

次に教育センターから「大学獣医学群の教育課程編成に係る産業界からの意見聴取について」として中出哲也教育センター長、同照井事務次長、同漆原課長から概要説明が行われ、後日メールによるアンケート協力依頼が行なわれた。

その後、総会が木村真氏を議長に選出して行なわれた。議案第一号は平成27年度事業報告及び決算報告について、議案第二号は平成27年度剰余金処分案について、議案第三号は平成28年度事業計画並びに収支予算について、議案第四号は平成28年度会費の金額名ならびに徴収方法について、議案第五号役員改選について審議され、挙手によりそれぞれ承認された。また議案第六号その他として、全国酪小獣の立ち上げについて、開業医OBの子弟入学について、酪大生ビールの件について等が会長から報告された。最後に玉井聡副会長からビールの経過報告等を含めて閉会の挨拶が行われた。

6時30分から会場をトンデンファームに移して懇親会が開催された。坂口SOCブルーイング(株)社長にもご出席いただき、酪大生(らくだいなま)ビールで乾杯した。懇親会は出席者全員からスピーチをいただき、和気藹々の中で行なわれ、最後は酪農讃歌を合唱し、記念撮影ののち散会した。その後、野幌で二次会も盛会が開催されたとのことでした。



「松井幸夫先生を偲ぶ会」開催報告

〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



同窓会は卒業生を応援します



訃報のお知らせ

かねてより病氣加療であった元酪農学園同窓会会長（兼短大同窓会会長）の高橋節郎氏が8月21日（日）に御逝去されましたので謹んでお知らせいたします。葬儀は同窓会HPでもお知らせしましたが札幌希望の丘教会で23日前夜式、24日出棺式が執り行われました。御冥福をお祈り申し上げます。

（写真は2013感謝状贈呈時）



2016年8月6日、ちょうど一年前の同日にお亡くなりになられた松井幸夫先生を偲んで、同窓生が「新さっぽろアークシティホテル」に参集しました。「松井幸夫先生を偲ぶ会」は酪農学園創成期の短大・大学の卒業生、松井幸夫先生が顧問をされていた野球部OB会および研究室同窓生に呼びかけられ、全国から79名の卒業生が駆けつけてくださいました。第一部として追悼式を行いました。司会の下田尊久氏から開式の辞が述べられ、亡くなられた松井幸夫先生に対し、黙祷が捧げられました。

次いで、植医第一研究室の一期生であり、現学園長の仙北富志和氏に発起人会を代表してご挨拶いただきました。続いて、短期大学卒業生を代表して水野直治氏から、若かりし松井幸夫先生の思い出を交えて追悼の辞をいただきました。また、野球部OB会代表の向井原幸生氏からも野球部顧問だった頃の松井幸夫先生のご活躍を知ることができました。

研究室同窓生代表として、喜多正則氏が語った思い出は、松井幸夫先生の言葉が声として聞こえるようなお話しでした。追悼の辞のあと、参列者お一人ずつ、松井幸夫先生の遺影に献花をおこない、追悼式の結びに参列者全員で遺影を囲んで集合写真を撮りました。

第二部は会食を兼ねた思い出を語る会として進められた。発起人であり一期生の佐々木和弘氏に開会の挨拶と併せて献杯のご発声をいただいた。しばらく会食と歓談で過ごしていただいた。あちこちのテーブルで懐かしいお話しでたけなわとなったところに、語りいとして、短期大学卒業生代表として、加藤昭平氏からスピーチをいただいた。また、大学一期生代表として、澤田強氏からも思い出を語っていただいた。スピーチのあと、在りし日の松井幸夫先生のお写真がスライドショーとして上映された。

今後の主なスケジュール（HP参照）

あ と が き

8月

6日（土） 緑風会(教員OB会)中央研修会（本学）

6日（土） 松井幸夫先生を偲ぶ会（札幌）

6日（土） 九州地区連合同窓会総会（宮崎）

9月

3日（土） 緑風会宮城県支部総会（仙台）

11日（日） 近畿地区兵庫県支部総会（神戸）

17日（土） ホームカミングデー（本学）

10月

15日（土） 中部地区岐阜県支部総会（岐阜）

16日（日） 中部地区富山県支部総会（富山）

北海道の初夏は爽やかで過ごしやすく、よさこいソーランや各地で催しが多い季節ですが今年は冷雨の週末が多かったように思われます。上記の白樺祭（大学祭）も雨となりました。

構内のデントコーンや牧草の生育状況も今ひとつというところ です。

また九州地方では大雨が続き、地震に加えて天候不順が続いております。「学園だより」により熊本地震への募金のお願ひも進めているところですのでご協力をお願い申し上げます。

学園では7月1日に新たに谷山弘行理事長、近雅宜常務理事が選任され、役員改選もあり理事等も大幅に変更になり、これから新体制の下で学園運営が行われることとなります。

今後、全国各地で同窓会が開催されますが学園役員も可能な限りご出席いただけることになっております。

沖縄県から北海道宗谷支部まで全国12地区72支部の設置を進めておりますが地元北海道の組織化が大幅に遅れております。

皆様のご協力をいただきながら組織化を進めていきたいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。